

日本聖公会 神戸教区報  
神の大震災に關し、  
今、私たちのできること

主教 アンデレ 中村 豊

大斎節に入つて三日目の三月  
11日(金)、東日本近海で起つた  
巨大な断層のズレが東日本各地  
に激震をもたらし、多くの家  
屋が倒壊し、ライフラインが寸  
断されました。

その後、断層のズレで誘発  
された巨大津波が、東日本沿岸  
各地を急襲し、海岸沿いの倉庫  
や工場、民家、車などを瞬く間  
に押し流し、逃げ遅れた人たち  
は、なすすべもなく、津波に飲  
み込まれてしまいました。

大地震・大津波の影響で、福  
島第一原子力発電所では、原子  
炉の燃料棒を冷却できず、これ  
に伴う事故が次から次に発生し、  
関係者は、原子炉を安全な状態  
に復旧させるための作業を不眠  
不休で行っています。

今回の大震災による犠牲者数  
は、兵庫県南部に住む私たちが

現在までに伝えられていてい  
る教会の被害状況ですが、仙台  
キリスト教会が危険な状態にあ  
り、水戸聖ステパノ教会の鐘楼  
と祭壇奥の壁が倒れました。下  
館聖公会では、礼拝堂の壁や天  
井の一部が崩れ落ち、磯山聖ヨ  
ハネ教会は海岸から50mのところ  
にあり、おそらく津波で相当  
な被害を受けたのではないかと  
予測されますが、未だに連絡が

大斎節に入つて三日目の三月  
11日(金)、東日本近海で起つた  
巨大な断層のズレが東日本各地  
に激震をもたらし、多くの家  
屋が倒壊し、ライフラインが寸  
断されました。

その後、断層のズレで誘発  
された巨大津波が、東日本沿岸  
各地を急襲し、海岸沿いの倉庫  
や工場、民家、車などを瞬く間  
に押し流し、逃げ遅れた人たち  
は、なすすべもなく、津波に飲  
み込まれてしまいました。

大地震・大津波の影響で、福  
島第一原子力発電所では、原子  
炉の燃料棒を冷却できず、これ  
に伴う事故が次から次に発生し、  
関係者は、原子炉を安全な状態  
に復旧させるための作業を不眠  
不休で行っています。

現在までに伝えられていてい  
る教会の被害状況ですが、仙台  
キリスト教会が危険な状態にあ  
り、水戸聖ステパノ教会の鐘楼  
と祭壇奥の壁が倒れました。下  
館聖公会では、礼拝堂の壁や天  
井の一部が崩れ落ち、磯山聖ヨ  
ハネ教会は海岸から50mのところ  
にあり、おそらく津波で相当  
な被害を受けたのではないかと  
予測されますが、未だに連絡が

# 東日本大震災に關し、 今、私たちのできること

主教 アンデレ 中村 豊

大斎節に入つて三日目の三月  
11日(金)、東日本近海で起つた  
巨大な断層のズレが東日本各地  
に激震をもたらし、多くの家  
屋が倒壊し、ライフラインが寸  
断されました。

現在までに伝えられていてい  
る教会の被害状況ですが、仙台  
キリスト教会が危険な状態にあ  
り、水戸聖ステパノ教会の鐘楼  
と祭壇奥の壁が倒れました。下  
館聖公会では、礼拝堂の壁や天  
井の一部が崩れ落ち、磯山聖ヨ  
ハネ教会は海岸から50mのところ  
にあり、おそらく津波で相当  
な被害を受けたのではないかと  
予測されますが、未だに連絡が



2011年  
4月号

発行所  
神戸教区事務所  
TEL 078(351)5469  
FAX 078(382)1095  
<http://www.nskk.org/kobe/>

発行責任者  
司祭 芳我秀一

印刷所  
文明堂印刷所

たちは、家族、友人、知人の安否を必死の思いで確認しておりますが、通信網、交通網が寸断されている状態で、作業は遅々として進みません。教会関係者も同様です。

すべての教会・伝道所での主日礼拝で、この祈りを獻げていただくよう、お願ひいたします。聖公会関係学校・園・福祉施設におかれましても、集会などで、大震災のために、共に祈つていただくようお願い申し上げます。

## 阪神・淡路大震災で受けた励ましを思いつつ

現在のところ、殆どの地域で  
は、被災者救援のため、外部か  
らの人的支援を受け入れる態勢  
を構築するだけの余裕はないよ  
うです。

このよう中、私たちに出来  
ることは祈ることだけです。阪  
神・淡路大震災を経験した私た  
ちは、被災地外から救援に駆け  
つけて来られた人たちによって、  
どれだけ励ましを受けたでしょ  
うか。それによって、どれだけ  
私たちの心が癒され、生きる勇  
気、希望が与えられたでしょう  
か。神戸の街がこのように復興  
できたのは、その背後に、多く  
の人たちの、篤い祈りと支援が  
あつたからなのです。

## 東日本大震災の祈り

慈悲深い神さま、東日本大  
震災によって家族・友人を失つ  
た人びと、離散させられた人び  
と、住まいを失つた人びと、病  
のうちにいる人びとに慈愛の手  
を差し伸べてください。どうか、  
大震災によって悲しみ、悩み、  
苦しみ、孤独に陥つた人びとを  
慰め、生きる勇気と希望をお与  
えください。

今、避難生活を余儀なくされ  
ている人びとが互いに助け合い、  
励まし合い、避難者に必要な保  
護が確保されますようにしてく  
ださい。

大震災によって命を失つた人  
びとの死を悼みます。どうか、  
愛する人の死によって、悲しむ  
人たちにみ力を与えてください。  
すべての憂い、悲しみを主にゆ  
だね、あなたの愛の慰めのうち  
に生きることができますように。  
これらの祈りを主イエス・キ  
リストの御名によってお献げい  
たします。

## まずは祈ることから



津波で打ち上げられた船（石巻市）

東日本大震災にあたり、「東  
日本大震災の祈り（下段）」、「東  
日本大震災、わたしたちの祈り（2頁）」、を作成しました。  
大斎節の間、神戸教区に属す



## 「矢も楯もたまらず…」

執事 イサク 坪井 智

16年前、「テレビ映像は切り取られた一部分だ、自分の目で見なければ真実は見えない」と言われた言葉を思い出し、何はともあれ、3月18日(金)午後11時に神戸を出発し、被災地に向かいました。

主要道路が通行規制をされている中、神戸から東北に入るためにはどのようなルートがあるか、東北教区へのお見舞い、そして個人的には木川田主教様のお見舞いと、活動している仲間へ支援物資の搬入、それらが主な目的でした。

### 仙台に到着して

3月19日(土) 午後2時頃

仙台キリスト教会着。加藤主教様にお見舞金と物資を渡しました。その後、木川田主教様を訪問。仙台市内は見たところ建

3月19日(土) 仙台市に到着



尚、出発に当たり、阪神淡路大震災時に全国から送られた物資の中、使用できるものを多数上原司祭が用意して下さいました。必要な物が既に神戸のホー

ムセンター等に無く、満足な数量がそろわなかつただけに感動でした。

また、東京教区信徒の吉村誠司氏の尽力により、緊急車両の証明をとってももらえました。この証明がとても効力を發揮しました。今回最初は、新潟から山形を経て仙台のルートを考えましたが、この証明のお陰で、磐越道から東北道を経て仙台に入る事ができました。所要時間の大幅な短縮と、途中の給油も可能になりました。逆に燃料が無いと何も出来ないことを身にしみて感じました。



震災被害と津波被害の石巻市内

その後、石巻市で吉村氏と合流、現地の状況を伺いました。石巻は津波の被害を受けた所です。震災と水害の両方を被つて悲惨な状態でした。海岸地域は一週間経った時点でも、殆ど手がつけられていません。沢山の自衛隊が必死に作業をしていました。しかし彼らの最優先課題は行方不明者の捜索であり、丁寧に瓦礫に取り組まないと、生存者やご遺体を傷つけてしまうことになります。重機を使いつつも、一気に片付ける事はできません。また住民も、戻ってきません。また店舗も様々な物資が届かず閉めているところが多くかったです。



津波の泥を撤去する被災者とボランティア(石巻市立湊小学校)

全国から支援物資が行政の集約所までは来ていますが、そこから被災者の所に行き渡っていません。燃料が無く動けない、配る場所の把握ができていない、そして配る人がいない。死者と生者の両方をサポートするための人手が余りにも足りません。

とにかく、生きておられる方々のことを心に思い、自分の痛みとして動きたいと思っています。

(松蔭女子学院中学高校チャップレン・大学非常勤チャップレン)

(家のあつた場所)は、静まり返っていました。その家の住人が無事であったのかどうかはわかりません。涙を流しつつ街を歩き、幾度も「魂の平安」「どうか避難できておられますように」と祈らずにはおられませんでした。

今迄私が知りうる限りの被災地では、その様なカウンタされない被災者を多くのボランティアが支えていました。ところが、今回は被災地が、あまりにも広範囲ゆえに、どこから手をつけべきかが見えないこと、また交通網が断たれ、併せて燃料不足等から、被災地にボランティアが向かえない状況です。

人々が避難している所は公設の場所ばかりではありません。被災した小学校の二階部分(一階部分は津波にさらわれて何もありません)に自主避難している方々もおられました。彼らはきっと役所の出す避難住民数に

### 避難所の状況

被災した後も、自分たちの生活を自分たちで守られなければいけないと、多くのボランティア活動に従事している人が被災した地元の方ばかりというのも悲しい限りです。彼らの心身の疲労はピークに達しています。

被災した後も、自分たちの生活を自分たちで守られなければいけないと、多くのボランティア活動に従事している人が被災した地元の方ばかりというのも悲しい限りです。彼らの心身の疲労はピークに達しています。

## 聖ミカエル国際学校の「」紹介

～Growing, working, learning together～

今、神戸教区においては、宣教について福音伝道、礼拝遵守といった信仰的課題だけでなく、社会や地域のニードに対して、教会がどのように応えて来たか、また今後のどう応えて行くかを問おうとしています。

そのような視点に立つ時、この聖ミカエル国際学校という存在は、社会的にも地域においても、ユニークかつ大切な働きを担ってきたことは言うまでもありません。教区としても誇るべきそうした働きに目を留めて、宣教についての新たな視点や着想が与えられれば幸いに思います。

この度は、聖ミカエル国際学校の様子について施設を尋ねさせて頂き、英語学校副校長の牧野田鶴師とレイ・チャップレンのポール・トルハースト師からお話を聞かせて頂きました。(小南記)



大聖堂で行なわれる創立記念礼拝

歴史と沿革について  
3月4日(金)に神戸聖ミカエル大聖堂で創立65年記念礼拝が行われました。1946年にミス・レオノラ・リー宣教師と八代斌助主教によって創立されました。前身は1983年に設立された英語学校にさかのぼります。

現在、インド、米国、英国、オーストラリア、日本などの出身児童約160名に、教師が24名います。英国の国家教育課程に則った教育がなされ、個性を尊重する教育がなされているのですと思われます。

**教育方針の特徴は?**  
「共に成長し、働き、学ぶ、Growing, working, learning together～」というマットー

児童数と教育課程等について、また教室の雰囲気や机の並べ方など随分日本の小学校と違つて見えますが?

戦後、リー師が在日の英語圏人々との混血の子どもたちへの教育を懇願されて、リー師宅の畠の間で、午前中はその子どもたちに、夕方には日本人に英語を教えることから始まつたとお聞きしています。

ります。

それが円形状に並べられた机や教室の様々なディスプレイなどに現れているのではないですか。(牧野)

### 最近の大きな動きは?

2008年に学校法人化したことの大いニュースです。以前から兵庫県認定やCIS、WASCといつた国際学校としての認可は受けていましたが、学校法人化したことにより、社会的信用度は大きく高まつた觀があります。それが学校運営・経営の安定化にも繋がっていると思われます。

(以上、牧野田鶴師より)

のもとに進められていますが、特に強調されることは「We are a member of the Community～私たちは共同体の一員である」ということです。これは学校という共同体に留まらず、「インターナショナル」という真の意味をそこから学んで欲しいという願いと言えます。

### 英語学校の働きは?

国際学校に比べて英語学校は、競合する多くの英語学校もあり、経営的に厳しい面もあります。しかし、会話等の実用英語においては歴史ある当校の教育法には自信を持っています。また帰国子女を対象にしたコースは大変感謝されています。

### 児童の宗教的背景また宗教教育について?

インド出身の子どもたちが多いため、ヒンドゥー教の背景の子どもたちが一番多いです。英語教育課程では、授業として「宗教」の時間がありますが、キリスト教だけでなく、ヒンドゥー教、イスラム教、また日本の宗教についても学びます。先日、5年生は生田神社に勉強に行きました。



様々な文化的・宗教的背景ながらも賛美の心は一つ

### チャップレンの働きは?

チャペルは、祈祷室だけの機能を備えたものであります。そこで礼拝は行えません。チャップレンとしては、教室やホールで子どもたちにお話しをしています。心がけているのは、聖書のみ言葉を教えるより、聖書の教えを反映した心の糧となる話をすることです。そして子どもたちが神様のみ守りの内に成長することを常に祈っています。

(以上、ポール・トルハースト師より)

### 神戸教区との関係は?

神戸教区からは当初からチャップレンが派遣されており、また神戸聖ミカエル大聖堂にて聖ミカエル及び諸天使日礼拝や創立記念日、卒業式も大聖堂で行われるようになっています。

# フィリピン・ワークキャンプ報告

教務局長 司祭 ヨハネ 芳 我 秀一

この度、九州教区フィリピン協働委員会主催のフィリピン・ワークキャンプに参加しました。キャンプの概要は左記の通りです。

【期日】 2011年 3月4日(金)～14日(月)

【場所】 ルソン島北部サンタイネス村と周辺地域。

【目的】 山に住む遊牧民の自立支援のため。

【内容】 荒れ地の開墾と耕作、教会訪問と地元の人々との交流

## ワークキャンプの経緯

九州教区は、10年以上も前からフィリピン中央教区とは姉妹教区として交流を持っており、このワークキャンプも8回目を迎えています。今回は、日本聖公会総会で決議されました教区間協働の一環として九州教区からお説いがあり、それに応えて、神戸教区から青年担当者の林和広司祭と共に参加した次第です。

今回は、前回(昨年3年に実施)と同じ場所で行われました。それまでは毎回別々の場所でワーキャンプを行って来ましたが、前回からは5年計画で同じ場所で開催することになっていました。

自動車で二時間ほど走った、高い山の中にある小さな村です。

そこには聖アグネス教会があり、司祭と信徒たちが、また週末には神学生たちが実習にやって来て、活発に宣教活動に励んでいました。

今回のワークキャンプは、サンタイネスからさらに山奥で生じて、定住になっていました。

25年間借り上げて、彼らと一緒に荒れ地を開墾し、水田や畠をつくって、彼らが自立できるよ

うに援助することになりました。

わたしたちも荒れ地を開墾し

て、畑を作り、レタスやなすびの苗を植えたり、また荒れ地か

ら出てくる石を集め水田に水を送る小川の両岸を石で積み上げるといった作業を行いました。

ダグソン司祭は、遊牧民を訪ねたサンタイネスは、首都マニラから北へ



荒れ地の開墾では村の長老が畠の作り方を指導され、キャンパー や子供たちはそれをまねて作業を行いました。

## ワークキャンプの内容

議した結果、ダグソン司祭の計画を5年

計画で実施することが決まりました。そこで両教区で協議した結果、ダグソン司祭の計画を5年

計画で実施することが決ま

りました。

## キャンプから学ぶもの

このように社会のニードに教会が応えながら、福音宣教のわざを行っていく教会の姿を見ることが出来ました。社会と教会が分離しがちな日本の教会の福音宣教を考える上で有意義な体験だと思います。

またワークキャンプには、日本から6名の青年たちが参加していましたが、その内の3名はリピーターでした。彼らはワーキャンプをしながら、地元の人々との出会いを楽しんだり、新しい事にも積極的に関わっていました。特に言葉よりも気持ちで接していたようで、良い経験になつたのではないかでしょうか。

来年は、神戸からも青年たちに参加して欲しいと思います。

(姫路顯栄教会牧師・鳥取聖ルカ教会管理牧師)

## ブラジルに帰国するにあたり



司祭 アンデレ 松尾常雄

その後、老齢で亡くなったり、子どもに引かれて都会へ移転などで、日本人信徒は減り続け、今では大きく様変わりしています。日本語の話せる牧師4人も退職の年齢となり、今ではボルトガル語での礼拝が主となり、日本語のみの信徒の高齢化で、主日礼拝出席も困難な状態となっています。

私は、1960年11月30日聖アンデレ日、故八代斌助主教から執事按手を受け、1962年6月2日、移民船アメリカ丸で神戸港を出帆し、ブラジルに渡りました。

ブラジルへ行く決心をしたのは、1959年、宣教百年の年、ブラジル聖公会から式典に参列のために来日された故弓場繁司の話「日本人の気持ちは、日本人にしか分らない」の言葉に感銘を受けた事からです。当時、ブラジル聖公会はまだアメリカ聖公会の管轄下にありました。ブラジルに到着後、1年間、ブラジル人の教会で副牧師として勤務した後、地方の日系人教会を巡回。それらは、戦前、移民初期の時代、田舎の日本人の集団地に作られた教会ですが、

1975年、日本政府は、ブ

ラジルへの移民政策を終了。その後移民は無くなり、私の仕事は、残された一世の野辺の送りとなりました。そこで、ブラジル聖公会を65歳で退職。日本へ帰りたいと古處で受け入れて下さり、2003年3月、妻と42年ぶりに母教区へ。最初5年間、徳島聖テモテ教会で、続いて呉信愛教会で3年と、計8年間嘱託として、また、月1回の出向で高松聖ヤコブ教会、松山聖アンデレ教会で御奉仕させて頂きました。心から感謝いたしております。渡伯4年目に、大磯のエリザベス・サンダース・ホームの故澤田ミキ姉が提唱した「アマゾンにステパノ農園を作り、孤児たちを移住させる計画」に、チャレンジとして参加し、7名の先発隊の青年と共にジャングルを切り開き、胡椒を植え、井戸を掘り、家を建てたりもしました。結果て行く、「そんな気がして2度と日本に帰る事は望めまい」と悲壮な気持ちで出発しましたが、47日の船旅で渡った国が、今では1日で行ける様になりました。帰国後は、かつて働いていた教会の日本語の礼拝や高齢の信徒の方々の訪問等々、働けたらと願っております。

神戸教区での8年間、二人の主教様を始め、教区の教役者及び信徒の方々のご支援を頂き、つとめる事が出来ました事を深く感謝いたしております。

「わたしは、世の終わりまでいつもあなたがたと共にいる(マタイ28:20)」という主の御

言葉を信じて、今後は、異国にいる日本人と共に歩んで行きたいと願っています。

### 5月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2011年5月12日(木)午前10:30  
場所 神戸聖ミカエル大聖堂

司式 主教 中村 豊  
司祭 竹内 崇

\* 5月の記念逝去教役者 \*

パウロ	中村	朗夫	四尚	弘	ち	久	吉
パウロ	木南	尚	豊	ゑ	八	與	一
ヨハネ	井川	鈴	耕	郎	興	ダ	ヨ
パウロ	億	瀬	造	吉	よ	ル	ト
メアリー	広	サン	六	造	よ	ム	ト
	井上	井上	郎	六	よ	ム	ト
	荒砥	荒砥	英	六	よ	ム	ト
	山内	山内	造	六	よ	ム	ト
	小池	小池	六	六	よ	ム	ト
	鶴野	鶴野	英	六	よ	ム	ト
	堀	堀	造	六	よ	ム	ト
			里				
			幸				
			子				
			岩				
			雄				

ペテロ	ジョーン・カメロン・マクドナルド	ジョン・バシリ・シンプソン
ジョン・カメロン	マクドナルド	ジョン・バシリ
マグダレン	ジョン・バシリ	ジョン・チャールズ
ヨハネ	ジョン・バシリ	ジョン・チャールズ
マリア	ジョン・バシリ	ジョン・チャールズ

## 鳩だより

《敬称略》

2月28日(月)

カタリナ 吉田恒子

神戸聖ミカエル教会より

日本基督教団仁川教会へ

5月13日(日)  
2月27日(日)  
2月27日(日)

祝洗禮  
神戸聖ミカエル教会  
広島復活教会

2月28日(月)  
パウロ 崑田真人  
神戸聖ミカエル教会より

2月27日(日)  
ヨセフ 安井真規子  
ルチア 安井真穂

横浜教区柏聖アンデレ教会へ

2月27日(日)  
ヨシシア 大内泰紀  
神戸聖ミカエル教会

2月28日(月)  
パウロ 崑田真人  
神戸聖ミカエル教会より

2月27日(日)  
ヨセフ 大内泰紀  
神戸聖ミカエル教会

2月28日(月)  
パウロ 崑田真人  
神戸聖ミカエル教会より

### 東日本大震災緊急募金のお願い

日本聖公会では上記緊急募金を募っています。この募金は、被災教区の当面の働きを支えるためにお贈りするものです。下記送金先に「東日本大震災緊急募金」と明記の上、直接ご送金ください。どうぞよろしくお願いします。

<送金先>ゆうちょ銀行振替貯金  
口座番号: 0120-0-78536  
加入者名: 日本聖公会

教籍移動